

# 安曇野屋敷林フォーラム2018

平成30年3月18日〔日〕 安曇野市役所本庁舎4階 参加無料

■ パネル展示：安曇野市庁舎1階平成30年3月12日～18日

安曇野に残る屋敷林をとおして、未来の生活を考えませんか。安曇野の屋敷林の保全は、歴史的景観や安曇野のシンボルと市民のプライドの継承でもあります。屋敷林とは屋敷の周囲に意図的に植えられた樹木群です。先人はこの屋敷林を目的をもって造りました。まさに屋敷林は生活に密着していたのです。

今年は屋敷林や民家の有る景観について語り、更に地域資源として活用する事を考えたいと思います。基調講演では、新潟大学准教授の黒野弘靖先生をお招きしています。パネルディスカッションでは、景観研究者、所有者、建築家などの立場から屋敷林の保全はもとより、更に地域資源として活用するようなビジョンも語り合いたいと思います。

## ■プログラム

受付開始 13:00～

開 会 13:30

基調講演 13:40～14:40

「屋敷林のある景観(建築と屋敷林のかかわり)」

講師 黒野 弘靖 氏

休 憩 14:40～14:50

パネルディスカッション 14:50～16:30

テーマ：「民家と屋敷林を活かしたまちづくり」

(コーディネーター)

宮崎 崇徳(プロジェクト副リーダー)

(パネリスト)

長尾 山根(東北大学生)

中沢 倫明(所有者)

川上 恵一(建築家)

場々 洋介(プロジェクトリーダー)

閉 会 16:30



## ■講師紹介

黒野 弘靖

新潟大学自然科学系准教授

2008年度～2017年度 新潟大学自然科学系准教授

2007年度～2008年度 新潟大学工学研究科准教授

2005年度～2006年度 新潟大学自然科学系助教

研究分野 都市計画・建築計画 / 都市計画・建築計画

主 催：屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト(景観あづみの <http://keikan-azumino.net/>)

後 援：長野県・安曇野市・松本地域景観協議会・松本地域景観育成サポーター運営会議・  
安曇野環境市民ネットワーク・(一社)長野県建築士会

問合せ先：安曇野市商工観光部観光交流促進課 Tel.0263-71-2000(代表) Fax.72-1340



# 安曇野の屋敷林

安曇野の屋敷林は雄大な北アルプスを背景に、田園風景となじみこの地域特有の景観を形成しています。特に5月の水鏡に映る景色は安曇野そのものです。富山県の砺波平野の屋敷林と違い、集落を形成しながらつながり神社などの森と一体化しているのも特徴です。それは安曇野の歴史的まちなみをも構成しています。

屋敷林とは屋敷の周囲に意図的に植えられた樹木群です。先人はこの屋敷林を目的をもってつくりました。まさに屋敷林は生活に密着していたのです。たとえば北西方向には北アルプスからの冷たい風を防ぐため常緑の杉・ヒノキで防風林を造りました。また女の子が生まれると嫁入りのため桐の木を植える習慣がありタンスにしたものでした。ケヤキは落葉のため比較的南東に植えました。時には建材、燃料でもあり、柿・梅は食料としても植えられました。また人のためだけでなく、鳥や昆虫の生活の場でもあります。緑はCO2を吸収し地球温暖化防止にも貢献しています。安曇野の屋敷林は樹種の種類が多いのも特徴です。安曇野は扇状地のため水が地下にしみ込み農業のために多くの堰が造られました。水は人の生活のため不可欠であり、水の豊かさは屋敷林にも大きな影響を与えています。安曇野の屋敷林は先人の美意識と機能の象徴であり数百年を掛けてつくられた時代の証人でもあります。

しかし現在ではその本来の機能は技術進歩や生活の変化により必要とはされず、落ち葉の処理・日照・維持費などを考えると時代の変化にともない切れ消え去る危機も秘めています。これまで私たちは安曇野市の旧5町村を中心に特に屋敷林の残っている場所の調査を進めてきました。緑にあふれたすばらしい環境を維持することの大変さとこの地域の風景・景観として大きな貢献を屋敷林が背負っていることに気づきます。屋敷林を安曇野の財産として今後残し保全していくためには、市民意識の向上や資金面での助成や保全の仕組みが必要だと思えます。安曇野の屋敷林の保全は、歴史的景観や安曇野のシンボルと市民のプライドの継承でもあります。

## 活動の経過

- 平成15年 高見沢松本地方事務所長のよびかけで、松本平の屋敷林の調査が始まる。景観サポーターとしては松本グループと安曇野グループができその後5年間現地調査をしてきました。
- 平成16年 松本地方事務所管内で屋敷林登録制度が開始された。
- 平成20年 4月 安曇野で活動する「屋敷林グループ」と「景観まちづくりグループ」が統合され「まちづくりネット安曇野」が誕生。
- 平成20年 6月16日 安曇野ブランドデザイン会議内に「屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト」が創立「まちづくりネット安曇野」のメンバーが主体で活動を続けている。
- 平成21年 1月14日 砺波の屋敷林研修
- 平成21年11月 7日 第1回 全国屋敷林サミット IN 安曇野 通算①
- 平成22年10月23日 全国散居村サミット IN 砺波 参加
- 平成23年 3月15日 安曇野の屋敷林 発刊
- 平成23年10月 6日 散居村サミット IN 奥州 参加
- 平成23年10月 9日 安曇野屋敷林フォーラム 2011 通算② 屋敷林サポーター募集開始
- 平成23年10月31日 「安曇野の屋敷林」地域発元気づくり支援金 松本地方事務所長表彰
- 平成24年10月 6日 砺波の屋敷林研修
- 平成25年 3月31日 安曇野屋敷林フォーラム 2013 通算③ 「屋敷林と民家」
- 平成25年11月23日 落葉ひろいボランティア 松岡宅
- 平成26年 2月22日 安曇野屋敷林フォーラム 2014 通算④ 「身近にできる緑化」
- 平成27年 3月21日 安曇野屋敷林フォーラム 2015 通算⑤ 「安曇野・砺波・武蔵野から発信する屋敷林の未来」
- 平成27年11月13日 武蔵野市に屋敷林視察
- 平成27年11月28日 落葉ひろいボランティア 中沢宅
- 平成28年 3月19日 安曇野屋敷林フォーラム 2016 通算⑥ 「武蔵野 都市緑化への思い」
- 平成28年 9月22～23日 砺波市の屋敷林研修
- 平成28年11月23日 落葉ひろいボランティア 曾根原家 住宅
- 平成29年 3月25日 安曇野屋敷林フォーラム 2017 通算⑦ 「緑の基本計画を広げるために」

# 映画 野曇安るがみよ



日本の  
原風景  
がある。



あんなことがあった。  
こんなことがあった。



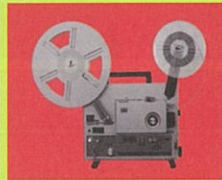
年をとるっていいなあ。  
だってこんなに  
懐かしい気持ちに  
なれるんだもの。



人の幸せは何なのかと  
考えさせられた。



安曇野に  
生まれ育ったことを  
誇りに思う。



一瞬一瞬を  
生き生きと  
生きている。



女性はいつの時代も強く  
子育てに農業によく働い  
ている姿が印象的です。



失われた心の豊かさが  
幸せの源にあることを  
認識できた。



かつて確かにあ  
今はもうないも

## 完成上映会

懐かしくて  
涙が出てきた。



小さい頃を思い出し  
笑ったり涙したりと  
とても感動しました。



何気ない  
人生の一コマは  
全て人生最良の時を  
感じさせた。



あづみの  
フィルム  
アーカイブ



安曇野市



# 第2集

子ども達の顔が自然で  
笑顔が素晴らしいです。



未来につながる宝物。



昔を知ること  
今を知ることと思いましたが。  
脳の刺激になり  
急に血流が良くなりました。



生活が便利になるとともに  
置いてきてしまった大事な  
ものがあるようにも思いました。



一日一日を  
大切に  
生きようと  
思った。



普通の結婚式に  
心が温まり涙した。

「昔は良かった！」と  
大きな声で  
言いたくなりました。



裕福ではなかったと思いますが  
皆が笑って過ごせて  
幸福だったと思います。



2018年

## 3月18日(日)

(開場 9:30) 10:00 - 12:00

入場無料 先着500名

安曇野市

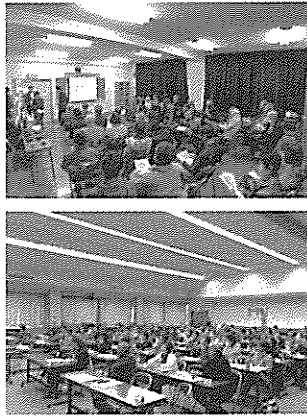
# 豊科公民館ホール

安曇野市豊科4289

当日はBGMに参加した  
市民の方々の歌や演奏も  
お楽しみ頂きます。



主催：安曇野市教育委員会 / あづみのフィルムアーカイブ  
協力：豊科女声合唱団 /



## 地域教育

地域の生きた教材としてその土地の歴史や生活文化を、市民が記録したフィルムを通して知ることができます。世代間のコミュニケーション作りにも活用が可能です。

## 回想法

懐かしい写真や道具を用いて思い出を語りあう回想法は、脳を活性化し、精神状態を安定させる効果があると言われていることから、認知症予防の心理療法として活用が広がってきています。今後この地域映画の回想法分野での活用が期待されています。



活用

STEP

# 4

## 民俗学

日常生活の中で記録されたホームムービーには、昭和時代の地域社会の姿が色濃く残されています。個人の記録の集積により新たな価値が生まれ、動的な映像史料としての可能性も広がってきています。安曇野市では郷土博物館や学校での活用が始まっています。



## 過去の記憶を未来

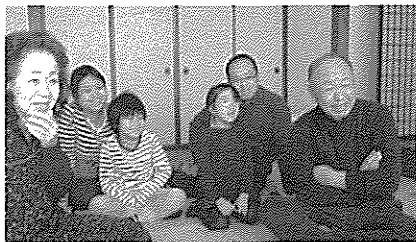
## 温故創新



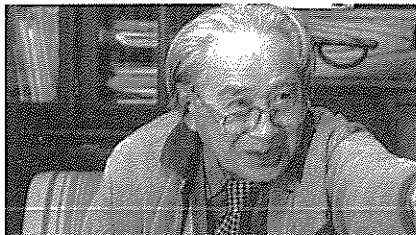
地域映画とは、昭和時代に市民8ミリフィルムを掘り起こし、市民との共創により新たな映画を創る、その土地オリジナルの過去の記憶を未来に繋げていく活性化にも役立ちます。安曇野参加の活動が3年目を迎え、完映画の上映が市内各所で好評。

### 「ホームムービーの日」

毎年10月の第3土曜日はホームムービーの日です。地域や家庭に眠る映画フィルムを持ち寄り上映する国際的な記念日として、世界17カ国100都市で祝われています。安曇野市でも2015年より毎年開催しています。



## よみがえる安曇野



### 題字制作

安曇野に生まれ育ち、長年、美術教員として教壇に立っていた画家の征矢野久さんに題字を制作して頂きました。絵心のあるフィルム映像も多数提供して頂きました。

### 編集

ご提供いただいた古い映像と新たに収録した音楽とインタビュを編集して映画を完成させます。

### インタビュー

フィルムの提供者や地域に関わりの深い方々に映像を見ながらインタビューを行います。撮影当時のお話や、昔の暮らしなどを映像やその周辺の話を通して聞きます。

## 地産地消

※フィルムの提供・上映のご相談は  
安曇野市教育委員会文化課まで 02



市民団体  
あづみのフィルムアーカイブ  
安曇野に眠る市民の  
で残り活用すること  
スタッフ随時募集中

STEP

# 3

創作

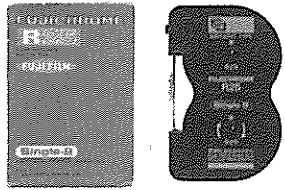
## 音楽の

童謡や唱歌や安曇野ゆかりして選曲し、これまでに、オカリナ、チロロの方まで世代

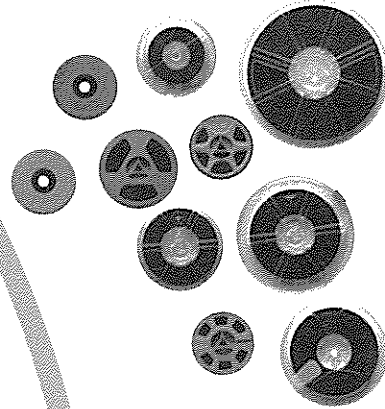
# STEP 1 収集

8ミリフィルム

主に昭和30年代から50年代にかけて一般市民により記録された8ミリフィルムは、時を経てその土地固有の文化風習を色濃く残す貴重な文化資源としての価値を持ち始めています。七五三や運動会、結婚式やお祭り、子どもの成長記録など、家族や地域が寄り添い、協力しながら暮らしていた時代の記録です。市民の記憶を現代に生かし、後世に継承していくには、地域で守っていく必要があります。まずは押入れの肥やしとなっているフィルムをご提供ください。



※現在、ご家庭に残された8ミリフィルムの一部では、経年劣化による酸化現象(ビネガーシンドローム)が発生し、フィルムの溶解がはじまっています。また、映写機の故障、所有者の高齢化、引越による破棄など、散逸の危機的状況にあります。



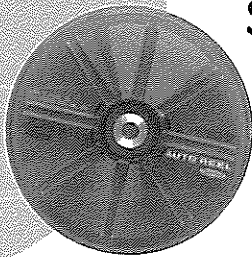
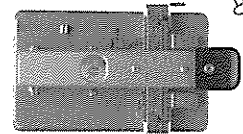
# STEP 2 修復

## 調査・保存・デジタル化

提供して頂いたフィルムは、分類調査後にクリーニングします。必要に応じて専門のスタッフが修復作業をした後にデジタル化を行います。提供者にはお預かりしたフィルムを返却し、フィルムと同内容のDVDを進呈します(フィルムの寄付をご希望される場合は、フィルムの受け入れも行っています)。また、将来的なアーカイブの構築に向けた準備も進めています。

### 「フィルムを捨てないで！」

国際フィルムアーカイブ連盟(FIAF)が70周年を機に世界に向けて掲げたスローガン。公的なものも私的なものも映画フィルムは文化的にかけがえのないものであり、適切な環境下で保管すれば長期的保存が可能である、と述べています。



# に繋げる 地域映画

記録したの集積を仕立てた映画です。活動は地域では市民による地域映画映中です。

63-71-2464

アーカイブ  
記録を、地域  
目的に設立。



# 音

からべ歌など、昔懐かしい楽曲を中心に、民謡や民謡など、地域の民の方々の演奏や歌声を録音します。歌、ピアノ、弦楽三重奏、ハーモニカ、トランペット、リコーダーなど、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が参加しています。

